

いもち病（葉いもち）情報第3号

平成27年7月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 葉いもち感染好適条件の出現状況

県下各地で7月4日から9日にかけて感染好適日（●印）となりましたが、その後は好天が続いたため、感染好適日とはなりません。また、7月16日深夜から17日にかけて台風11号が中国・四国地方を通過しましたが、7月16日も感染好適日とはなりません（表）。

2 発生状況

7月上旬の巡回調査（155ほ場）では、8ほ場で葉いもちの発生を認めました（本年発生ほ場率 5.1%、前年発生ほ場率 0%、平年発生ほ場率 3.7%、本年発病株率 0.1%、前年発病株率 0%、平年発病株率 0.4%）。葉いもちの発生ほ場率はやや高いものの、発病株率は平年並の状況でした。なお、その後の調査では、7月4日から9日に感染したと考えられる発病株率70%を超えるほ場を西三河地域で認めています。

3 今後の見込み

名古屋地方気象台7月17日午前10時30分発表の週間天気予報によれば、向こう1週間（7月18日～24日）は、18日は湿った気流の影響で雨が降るでしょう。その後は高気圧に覆われて概ね晴れますが、湿った気流の影響で雲が広がりやすい見込みです。

葉いもちの発生量は平年並ですが、まとまった降雨はない見込みですので、早期栽培での穂いもちの発生量はやや少ないと予測します。ただし、常発地では発生に注意してください。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果
（7月1日～7月16日）

日付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
7/1	6	6	●	●	●	●	●	●	④	④	④
7/2	—	—	—	④	—	3	3	6	5	4	—
7/3	6	2	2	6	2	4	5	3	3	6	3
7/4	—	—	0	●	—	●	—	—	—	—	①
7/5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①
7/6	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①
7/7	●	●	●	9	●	—	9	●	9	8	8
7/8	●	8	●	9	7	7	9	—	●	—	—
7/9	4	●	2	—	●	—	—	5	5	—	—
7/10	—	—	—	6	—	—	5	7	—	—	9
7/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/16	3	3	3	—	3	3	3	—	—	3	4

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）